

2025 年 3 月のブルーベリー農園その 4

暖かい日、寒い日が交互に続きながら春がやってくる。東広島市豊栄町のブルーベリー農園でも花木や野の花が次々と咲いてブルーベ

リー畑の地べたには緑が広がる。農園には安芸区の自宅から通っているが今の農作業はブルーベリーの剪定で 5 月までもつれそうな進み具合となっている。剪定作業は毎年遅れるが春の気配を楽しながらぼちぼち進めていくしかない。

3 月 25 日 (火) 畑のブルーベリーの剪定作業。道の向こうに元気に泳ぐ鯉のぼりが見える



3 月 28 日 (金) ブルーベリー畑の木と木の間に咲くスイセンもほぼ満開

3 月 26 日 (水) 畑の見回りをしているとアシナガバチが野草の花にとまっているのを見て、急いでスズメバチの捕獲のため酢と砂糖を混ぜた液をペットボトルの枝にぶら下げる。この日の気温は 20 度を超していた



ブルーベリーの花芽も硬い蕾が口を開き花が咲く動きが見える



一番下の畑のブルーベリーの間引きを行う。ほぼ 10 アール (1 反) ある畑のブルーベリーは 8 列あり、1 列に 2m 間隔で 30 本くらい植わってある。各列のほぼ真ん中あたりの木を 1 本切って空間を作った



地べたには野の花のホトケノザが広がっている



農園の畑ののり面のウメの木の花が満開。今年は実がたくさんできそう



ウメに近くの草の中にフキノトウを見つけたあたりを見回したが一つしかなかった



庭ではアシビと八重のツバキは花開く



白いツバキはまだ蕾のまま。4月になれば・・・。



農園からの帰り道で毎年出会えるのは、畑に咲く白い花木（名前知らず）。今年の春の雪で木が裂けているのもあった



2025 年 3 月 31 日

社会福祉法人安芸の郷

理事長 遊川和良

《2025 年 3 月 31 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》